

## ◆1年合唱の部

- 1位 11 「3月9日」 「栄光の架橋」  
2位 15 「Story」 「A whole new world」  
3位 12 「いのちのリレー」 「未来へ」



## ※ 審査講評

どのクラスもクラスのまとまり、団結が伝わる発表であった。曲の歌いだしの所が弱いところが多かったので、指揮のリードのもと、最初の音、言葉をはっきりと発声していくとさらにメリハリの効いた発表になると感じた。

## 1 1 「3月9日」「栄光の架橋」

男女ともによく声ので、まとまっていた。一つの曲の中に強弱、メリハリをうまくつけて、歌詞に思いを込め、観客をひきつけた。指揮は、2名ともうまく全体を引っ張っていて指揮賞をあげたいほどであった。

## 1 2 「いのちのリレー」「未来へ」

男女の声のバランスがよく、美しいハーモニーだった。曲のテーマを沖縄にして、背景もマッチし、「命のつながり」「未来」というメッセージがよく伝わった。2曲目の後半の男女のかけあいの部分がもう少しリズムにのれると良かった。

## 1 3 「風になる」「友～旅立ちの時～」

トップの登場でしたが、男女のさわやかな混声があった。特に女子の声が揃っており、優しく美しいハーモニーをつくられていた。全体として、もう少し音量がほしかったこと、立位置がステージ右側に片寄ったことがおしかった。

## 1 4 「366日」「雨ノチ晴レルヤ」

様々なパートに分かれていて、ハーモニーが良かった。全体として、男女ともに音量がもう少しほしかった。2曲目は全員で頑張ろうという姿勢が出ていて良かった。

## 1 5 「Story」「A whole new world」

音量があり、女子の高音が美しく出ていた。特に2曲目は全員で手をつなぎ、指揮もうまくリードし、男女で一体感をつくりあげていた。曲がどんどん速くなるところで、リズムが少し乱れたのが残念だった。

## 1 6 「君をのせて」「遙か」

男子が多いことで、声に力強さがあり、合唱に迫力があつた。伴奏も安定感があり、気持ちよく聞くことができた。曲の盛り上がるサビの部分と、弱い部分のメリハリをもう少し効かせていくと、さらに観客に伝わるものとなった。

## ◆2年演劇短編の部

- 1位 26 「チャーリーとチョコレート工場」  
2位 25 「Snow White」  
3位 21 「必殺仕事人」

※ 最優秀演技賞 21 趙 誠雲 さん（ハンキチ役）



## ※ 審査講評

一生懸命練習した成果が、舞台に現れていた。衣装や舞台の使い方などにも工夫がみられ、また、脚本にも、苦労しながらストーリーを紡ぎ、観客を楽しませようとする工夫が多かった。

次年度への課題としては、さらに観客を意識すること。演技、発声、暗転など、観客からどう見えるか、どう聞こえるかをもっと考えて工夫してみよう。

## 2 1 「必殺仕事人」

役者が揃っていて楽しめた。見せ方を工夫している。せっかく用意した音響を、暗転の時も続けて流すと良かった。

## 2 2 「Fighting ☆ 赤ずきん」

ストーリーに面白さがあり、出演者のチームワークの良さを感じた。転換時の足音や装置を運ぶ音に気をつけてほしい。

## 2 3 「千と千尋の神隠し」

シンプルな舞台を大きく使っていた。登場するだけでクスツとなる空気がよく作れていた。ダンスや振り付けにも工夫が見られた。立ち位置や体の向きにも意識を。

## 2 4 「美女と野獣」

コナンがリアルであったり、ストーリーに工夫があった。発声も良い。オープニングはナレーションだけで処理せず、シーンを作ってほしい。

## 2 5 「Snow White」

所々に上手にユーモアが盛り込まれていて楽しめた。発声も大きく、ダンスも良かった。台詞に重なる音楽はもう少し絞って。英語なので難しいかもしれないが、内容に深みがほしい。

## 2 6 「チャーリーとチョコレート工場」

会場全体の使い方、照明音響などシーンの展開がよく考えられていた。台詞も聞き取りやすかった。台詞と台詞の間を考えると、単なる「発表」ではなく「会話」になる。

## ◆3年演劇長編の部

1位 35 「手紙」

※ 特別企画賞 33 「鋼の雪」

2位 36 「Patch Adams」

※ 最優秀演技賞 31 大岡 弦生 さん（鬼の頭領役）

3位 31 「桃太郎～another story～」

## ※ 審査講評

流石に3年生、全クラスともに素晴らしく、力作揃いだった。客席を魅了し、舞台と会場が一つになっていた。

3年間の集大成となる作品で、各クラスのメッセージが肌に伝わった。実にレベルの高い、甲乙つけがたい熱演であった。

### 3 1 「桃太郎～another story～」

シンプルなストーリーの中に深さがあった。鬼の頭領の演技が素晴らしかった。暗転時のBGM、効果音にもう一工夫あるとよかった。

### 3 2 「カラフル」

プラプラのコミカルな演技が素晴らしかった。脇役たちの個性が光っていた。場面転換がやや多く、舞台をもっと広く使う工夫をするともっとよくなる。

### 3 3 「鋼の雪」

アンドロイドと人間の悲しみと愛がよく演じられていた。心理描写がスポットでわかりやすく表現されていた。BGMを使うともっと良くなったはず。

### 3 4 「ダブリンの鐘つきカビ人間」

ファンタジックな面がほのぼのとしていた。コミカルな演技がちりばめられており、全体をメリハリよくまとめられていた。大道具にもこだわりが見られた。照明、音響がやや一致しないところがおしかった。

### 3 5 「手紙」

登場人物がそれぞれ名演技だった。生演奏が効果的で、場面転換がスムーズだった。手紙のやり取りが照明で工夫されていた。

### 3 6 「Patch Adams」

主題が明確であった。アダムスの長いセリフが印象深く、情熱が伝わった。場面転換が工夫されており、舞台中央や袖を有効に使っていた。